

授業科目	観光フィールドワーク				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	TO21502J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP4-1			
担当教員	角谷 尚久							
授業概要	観光フィールドワークの目的や手法を学び実践することで、調査対象地の実情をより理解することにつながる。 観光地ならびに観光素材を調査対象とし、調査対象・項目はそれぞれでグループワークにて決定する。 コロナの感染状況により、現地調査を講義などに切り替える場合があるので、留意のこと。							
学生が達成すべき行動目標	1) フィールドワークの目的と方法を理解し、計画することができる。 2) フィールドワーク対象の概要を把握しておくことができる。 3) フィールドワークの成果を分析、考察した上で、新たな取り組みや付加価値を提案することができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	30	50	0	20	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)				10			10	
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			15	10			25	
思考・判断 (DP2-2)			15	10			25	
関心・意欲 (DP3-1)				10			10	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)				5		10	15	
態度(DP4-2)				5		10	15	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
観光フィールドワークを通して基礎知識を理解し、観光フィールドワークの重要性を説明できる。さらに対象の現状と課題について考察し、新たな取り組みや付加価値を提案することができる。				観光フィールドワークを通して基礎知識を理解し、観光フィールドワークの重要性を説明できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション シラバスの内容、講義の進め方、受講上の注意の説明			講義		復習		60

2	フィールドワークの概要 ・フィールドワークとは ・フィールドワークの意義	講義	復習	60
3	フィールドワークの方法 ・調査方法についての説明	講義	復習	60
4	フィールドワーク内容の調整(1) ・グループ並びに発表順の決定 ・目標設定について	講義 (グループワーク)	発表の準備、復習	60
5	フィールドワーク内容の調整(2) ・目標設定および役割分担・日程について	講義 (グループワーク)	発表の準備、復習	60
6	フィールドワーク内容の決定 ・フィールドワーク内容の発表	講義 (グループワーク)	発表の準備、復習	60
7	フィールドワークの実施(1) ・文献調査	現地調査	発表の準備、復習	120
8	フィールドワークの実施(2) ・文献調査まとめ	現地調査	発表の準備、復習	120
9	フィールドワークの実施(3) ・フィールドワークの実施(1回目)	現地調査	発表の準備、復習	120
10	フィールドワークの実施(4) ・フィールドワークの実施(2回目)	現地調査	発表の準備、復習	120
11	フィールドワークの分析・まとめ(1) ・フィールドワーク結果の集約	講義 (グループワーク)	発表の準備、復習	60
12	フィールドワークの分析・まとめ(2) ①フィールドワーク結果の分析	講義 (グループワーク)	発表の準備、復習	60
13	フィールドワークの分析・まとめ(3) ・グループごとに発表の準備をする	講義 (グループワーク)	発表の準備、復習	60
14	フィールドワークの分析・まとめ(4) ・発表内容を取りまとめ、発表準備を完了する	講義 (グループワーク)	発表の準備、復習	60
15	フィールドワークの成果発表 ・グループごとの発表	講義	発表の準備、復習	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	<p>1. 「フィールドワーク入門」を履修済みもしくは同時履修していることが望まれる。</p> <p>2. 調査の成果発表はマイクロソフトパワーポイントを使用してのプレゼンテーション発表となる。</p>			
テキスト	適宜資料を配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>・谷富夫・芦田徹郎編著（2009）『よくわかる質的社会調査 技法編』、ミネルヴァ書房、2500 円＋税</p> <p>・谷富夫・山本努編著（2010）『よくわかる質的社会調査 プロセス編』、ミネルヴァ書房、2500 円＋税</p>			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>本講義は実際に街へでて、インタビューやアンケートを行う。そのため、部活動やアルバイトなどの日程調整が必要となるので、事前に確認のこと。</p> <p>コロナの感染状況により、現地調査を講義などに切り替える場合があるので、留意のこと。</p>			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	授業参画やグループワークでの貢献度を重要視する。			

